

0	自治体名		利用シェアサービス	行政課題	課題解決に向けた具体的な活用事例
1	千葉県	千葉市	スペースマーケット TABICA	<p>(1) 国際会議等MICE誘致の都市間競争が激化しており、MICE開催地として千葉市の魅力向上に努めることが不可欠となっている。</p> <p>(2) 2020年に千葉市で7つの競技が開催されるオリパラに向けて、「魅力の発掘と、発掘した魅力の体験プラン化」「来訪客を迎える機会増によるおもてなしの質の向上」を目的とした千葉市の魅力的な体験型観光プランを紹介する無料誌「千葉あそび」のさらなる価値向上を図る必要がある。</p>	<p>(1) 特別感や地域性を演出できる歴史的建造物、文化施設、公的空間等のユニークベニューの活用がMICE誘致に大きな効果を発揮すると考えられることから、スペースマーケットと連携し、市内にあるユニークベニュー施設の利用促進に取り組んでいる。</p> <p>(2) 「千葉あそび」の体験における魅力の質のさらなる向上や、市外からの体験申込者数の増加、体験後のリピーター発掘に向けた参加者募集情報の発信の場の創出のため、TABICAと連携し、TABICA会員相互の情報共有の仕組みを活用した情報発信や受入ホスト開拓等の協力を開始している。</p>
2	静岡県	浜松市	スペースマーケット TABICA	<p>浜松市は、全国で2番目の市域面積を有し、海岸から山間地域、都市部から過疎地域までが存在する国土縮図型の政令指定都市。</p> <p>(1) 中山間地域の人口減少は顕著であり、地域活性化のため交流人口の拡大が課題となっている。</p> <p>(2) 平成17年の周辺市町村との合併により、大幅に増えた公共施設について、施設の統廃合を行っているが、資産の有効活用が課題となっている。</p>	<p>TABICAとの連携による市北部の中山間地域の観光体験プラン提供やスペースマーケットとの連携による遊休資産掲載によって、新たな交流人口を創出する。</p> <p>また、昨年4月から市の職員をスペースマーケットに出向させ、シェアリングシティ推進人材の育成を実施している。</p>
3	秋田県	湯沢市	スペースマーケット AsMama タスカジ	<p>湯沢市は人口も5万人を切り、少子高齢化率も35%を超えて、全国の中でも人口減少・少子高齢化率の先進地であることから子育てから介護まで全てを公共サービスを担うことによるサービスの低下を懸念。</p>	<p>同じ幼保小の親同士、近所、知人・友人等がつながり、子どもの送迎や託児を頼りあう「AsMaMa」の子育てシェアの仕組みを活用し、共助コミュニティ浸透を図ることで、子育て世代の住みやすい街を作っていく。</p>
4	長崎県	島原市	スペースマーケット TABICA 軒先パーキング	<p>島原市は長崎県南東部の島原半島にあり、島原城や武家屋敷など旧城下町の街並みが残る観光都市であるが、島原城等観光施設の収益化による観光事業の活性化が課題。</p>	<p>2016年10月に「経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として株式会社島原観光ビューローを設立し、同社が運営する島原城等の観光施設をスペースマーケットに掲載し、シェアすることで、全国に向けてPRし収益化を目指していく。</p> <p>また、市民の主体的な参加による観光コンテンツの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験型旅行メニューの充実 <p>に向けてTABICAと提携し、観光ビューローがコーディネートし、様々な島原の体験コンテンツを提供。</p> <p>2017年8月には、島原半島最大の花火大会、「島原温泉ガマダス花火大会」において、例年、来場者の違法駐車等が多く見られたことから、本年、「軒先パーキング」と連携した駐車場シェアリングを実施するなど取り組みを進化させている。</p>

5	佐賀県	多久市	クラウドワークス TABICA	<p>多久市は、18世紀から炭鉱の町として栄えたが、昭和47年には最後の炭鉱も閉山し、人口流出が加速し、街ににぎわいがなくなってきている。</p> <p>現在では人口は2万人をきり、少子高齢化率が高く、働く場所が少ないため、人口流出に歯止めがかからず、住民の町に対する親しみがない。</p>	<p>クラウドソーシングの「クラウドワークス」と提携し、働きたいが働けない人をターゲットに、在宅でもできる仕事の提供を行う。また、多久市ローカルシェアリングセンターを設立し、若者子育て世代向けはもちろん、ITリテラシーの低い高齢者に対してもクラウドソーシングによる仕事を提供し、センターを中核としたサポート体制を充実させ、住民満足度を高めていく。</p> <p>また、平成29年10月から、総務省の地域おこし企業人交流プログラム事業を活用し、多久市でのTabicaを普及推進している。</p>
6	滋賀県	大津市	AsMama タスカジ	<p>人口減少、少子高齢化に関する様々な課題に対して、シェアリングエコノミー等による地域活性化を推進し、地域の助け合い「共助」により、行政・公共サービスを補完することで、地域課題が解決できるまちをめざす。</p> <p>具体的には、子育てしやすい環境づくり、過疎化が進む地域の交通問題、町家の有効活用による地域活性化など</p>	<p>シェアリングエコノミーの普及・啓発から取り組むにあたり、シェアリングエコノミー伝道師の派遣を受け、子育て分野をターゲットに、AsMama、タスカジ、エニタイムズ、キッズラインの協力の下、子育てシェアリングエコノミー交流会（9/10）を開催し、アンケート調査も行った。</p> <p>その結果を踏まえ、協会、AsMama、タスカジと協力し、より一層のシェアリングエコノミーの普及・啓発に努める。</p> <p>さらに、交通分野、観光分野などについても調査・検討を行う。</p>
7	岩手県	釜石市	Airbnb TABICA cogicogi シェアのり	<p>釜石市はラグビーワールドカップ2019の開催地。期間中の宿泊施設不足や、大会を契機とする滞在型観光・インバウンド観光の推進が課題である。</p> <p>また、滞在型観光・インバウンド観光の推進にあたり市内の2次交通の利便性向上も課題。</p>	<p>宿泊施設不足解消に向け、Airbnb社と2016年10月に「観光促進に関する覚書」を締結。農家民泊を推進する体制構築や英語版ガイドブックの作成、非常用宿泊施設の提供にホストコミュニティを活用する災害対応プログラムの策定などを協働</p> <p>また、TABICAと連携し、地域の観光体験プログラムを盛り込んだMeetup KamaishiのPRを実施。</p> <p>2次交通の利便性向上に向けて、COGOCOGIと連携し、シェアサイクルポートを三陸鉄道釜石駅に導入し、街中の移動手段を提供。</p> <p>さらにはシェアのりと連携し、個人所有の車をシェアし、来訪者などへの移動手段を提供。</p>
8	埼玉県	横瀬町	スペースマーケット TABICA	<p>(1) 人口減少による町の活力の衰退 (2) 小さな町で自らの資源のみによる事業展開の限界</p>	<p>官民連携プラットフォーム（通称：よこらば）を立ち上げ、受入窓口を創設。</p> <p>●スペースマーケットを利用した町長室、議場の空き時間の有効活用及び廃校の利活用。</p> <p>●TABICAを利用した、農業体験、地域の祭り参加体験。</p> <p>などシェアリングサービスを活用し、外貨獲得や人材交流などを図る。</p> <p>さらには、部活動のない中学3年生を中心に、生徒の空き時間及び学校施設を活用したクリエイターによる実践的キャリア教育にも力を入れ、新たな教育にもチャレンジしている。</p>

9	北海道	天塩町	notteco ランサーズ	<p>(1) 手塩町民の生活圏(総合病院・商業施設など)は70km離れた「稚内」だが、バスと鉄道を乗り継ぐと片道約3時間かかる。(日帰り往復不可) 直行する公共交通機関が無く、クルマを所有していない、運転できない交通弱者(高齢者)にとって不便な環境。 (2) 離農や高齢化などの影響で、現在町の人口は約3,200人にまで落ち込んでいます。離農した地域の働き手の新しい働き方や仕事機会創出が必要。</p>	<p>(1) 天塩~稚内間をマイカーが定常的に移動(往復している)しており、空席有り移動する車の遊休資産活用できないかと検討し、「空席があり移動するクルマ」に相乗り(ライドシェア)で移動する仕組みで交通弱者の課題を解決していく。 (2) ランサーズと提携し、クラウドソーシングを活用した新しい働き方と仕事機会の創出を実施している。</p>
10	鹿児島県	奄美市	ランサーズ PIXTA ミネ	<p>(1) 外海離島である奄美大島は、物資の輸送や人の移動において時間とコストがかかるという地理的ハンデを抱えている。 (2) 台風常襲地ということもあり、製造業も育ちにくく、誘致も困難 (3) 世界自然遺産登録に向け情報発信力が期待されている</p>	<p>奄美市では一昨年より労働力のマーケットである都市部と奄美の働き手のシェアを推進する施策「フリーランスが最も働きやすい島化計画」を策定し、「フリーランス寺子屋」という人材育成プログラムを推進している。 ランサーズ社とはウェブ記事のライティングの仕事、ピクスタ社とはストックフォトの仕事、そしてGMOペパボ社とはミネというサービスでハンドメイド商品の販売の仕事を市民と共に取り組んでいる。</p>
11	富山県	南砺市	ランサーズ Airbnb	<p>琵琶湖に匹敵する広大な市域の多くを山間地の過疎化が著しく、合併当初(H16)5万9千人だった人口は5万人と合併13年で2割近く減少した。 散居村が広がる平野部でも農業をはじめとする一次産業の担い手不足、商店街の空き店舗の増加といった問題を抱えており、空家等を利用した移住定住と交流人口の拡大、企業誘致・起業支援が喫緊の課題となっている。</p>	<p>2016年から、ランサーズとともに、クリエイターやプログラマーなど、パソコンと通信回線さえあればどこでも仕事ができる「さすらいワーク」事業に取り組んでおり、今年度からはWiFi環境を整えた移住体験ハウスを活用した「ソノトチワーク」に取り組んでいる。 また、市独自に空店舗対策、起業家支援の補助制度を設けており、これらを活用して空家をゲストハウスに改修し、合掌造りや木彫刻などの歴史文化を体験してもらうプログラムが好評で、外国人観光客の誘客にAirbnbが一役買っている。</p>
12	長野県	川上村	エニタイムズ クラウドワークス	<p>人口減少の1つの要因として地域の女性が帰村しない傾向があり、男性の非婚率も高い。 女性に選ばれる地域を目指し、地域の女性がイキイキと暮らしやすい村を創るため、 「KAWAKAMI SMART PROJECT」を推進している。</p>	<p>クラウドワークスを活用し、役場主催のアイデアコンテストのチラシの制作や、シェアリングエコノミーシステム「MAKETIME!」のロゴの制作などを実施することにより、コストを抑えながらクリエイティブレベルの向上を目指している。 村独自のシェアリングエコノミーシステム「MAKETIME!」を開発し、家事や育児など地域内の相互扶助で、補い合うことにより、ママが自由に使える時間を創り出し、自己実現や新しい取り組みに挑戦できる環境を創造する。(今後、民間企業への移行を想定) "</p>

13	石川県	加賀市	スペースマーケット TABICA	<p>観光誘客に関しては、単に誘客数を増やすだけでなく、観光消費額の増大と観光産業のさらなる活性化につながる実利を得ることが重要となる。しかし、当市の温泉宿泊客の動向調査では、加賀市への流入と流出が、宿泊施設のチェックイン、チェックアウトの時間帯とほぼ連動しており、加賀市内を観光等により滞在・周遊している方が少ないという結果が出ている。</p>	<p>観光誘客に焦点を当て、(株)スペースマーケットとの連携を図り、市有施設の利活用の促進を図るとともに、(株)ガイアックスが運営するTABICAとは、加賀市ならではの体験メニューについて、広く情報発信を行い利用促進につなげることで、観光客の市内滞在時間と観光消費額の増大を図っていきたい。</p> <p>2015年3月に金沢駅までの開業を果たした北陸新幹線は、2023年の春には、敦賀まで延伸される予定である。加賀温泉駅まで、大量輸送の花形である新幹線が延伸するこの好機に向けて、加賀市が持つ資源をさらに磨き上げ、その魅力のアピールや情報提供の強化を図っていく。</p>
14	宮崎県	日南市	FAAVO クラウドワークス エニタイムズ	<p>人口減少、少子高齢化が進展している中で、地域の限られたリソース（人・物・金）をいかにして総合的に活用し、若者世代に魅力あるまちづくりをしていくのかという課題を抱えている。</p>	<p>民間人材を登用し、日本一提携しやすい街を目指している。</p> <p>シェアリングエコノミーも人・物・金あらゆる領域で活用している。</p> <p>クラウドファンディングでFAAVOと提携し、地域の特産品を海外の展示会出品のための資金集めに活用。</p> <p>スキル活用はクラウドワークスと提携し、月20万円ワーカーを目標にクラウドソーシングを活用。特に農林漁業分野における閑散期の新たな収入源の確保に効果を発揮し、本取り組みは地域情報化大賞2015 特別賞を受賞した。</p> <p>また、エニタイムズと提携し、ファミサポ援助者、シルバー人材センターの人材を活用して、地域の助け合いの仕組みを提供している。</p>
15	福井県	鯖江市	FAAVO Makuake スペースマーケット TABICA	<p>鯖江市は成熟産業である「ものづくりのまち」であるため、常に新たなイノベーションにチャレンジし続ける必要がある。そのため、SDGsなど持続可能な社会に向けた新たなルールや、オープンデータなどIT環境の変化にいち早く対応していきたい。また、市民役の受け入れ体制を整えることで産官学も含めた総参加型の社会の実現が重要と考えている。</p>	<p>国産シェア9割を誇る眼鏡をはじめ、漆器・繊維などが盛んな「ものづくり」とJK課、OC課といった、女子高校生から高年女性の活躍する「市民主役・女性活躍社会」の両面が特徴の鯖江市。</p> <p>今後は、顧客視点の新たな販路と企画を在庫リスクを抑えながら実現するため、FAAVOやMakuakeなどクラウドファンディングを活用したものづくりを推進する。</p> <p>また、平行してTABICAやスペースマーケットなど住民が主役となって既存資源の共有を進めながら、観光や域外からの受け入れを担うことで、地域全体が稼げる活性化を目指したい。</p>